

## 八雲町熊石国民健康保険病院運営委員会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和5年8月30日（水） 午後3時
- 2 開催場所 熊石総合支所 2階第1・第2会議室
- 3 出席委員 宮田委員、干場委員、桂川委員、田村委員、刀禰委員
- 4 町出席者 成田副町長、福原事務長、小池事務次長
- 5 会議録
  - (1) 開会
    - ・福原事務長
  - (2) 副町長挨拶
    - ・成田副町長
  - (3) 付議事項
    - ① 令和4年度決算について  
事務局説明
      - ・質疑等

委員： 人件費予算で常勤医師3名体制を想定していたが、3名揃って診療報酬の収入はどのくらい増収するのか。

福原事務長： 医師標欠をクリアすることで新たな加算取得など診療報酬の増収が見込めるものです。また、入院基本料が減額となるペナルティーもなくなります。地域人口の減少により患者数の増加は見込めない中、常勤医を確保することで診療報酬の増収に伴う診療単価の増を見込んだ予算計上です。

委員： 収入の減少はコロナの影響が大きかったことが要因か。

福原事務長： 患者1人当たりの診療単価に大きな増減がないことから、医療の質は落とすことなく患者数の減少が料金収入の減少に繋がったとみており、背景には新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったと分析しています。特に、入院収益は院内感染集団が発生した8月から9月まで顕著に現れており、影響は10月以降もあったと捉えています。また、病棟に人員を割く必要があったことから、外来診療は制限をせざるを得ない状況もあったことも減収に繋がっているところでは。

委員： 医業外収益が大きく増額となっているが、詳しい説明をお願いしたい。

福原事務長： 収支が安定したのはこの医業外収益の補助金収入によるところであり、新型コロナウイルス関連の国、道の補助金1億3,520千円となりました。病床確保料や感染防護資材などの補助金ですが、病床確保料については令和5年9月で補助金

がなくなるということです。

## ② 公立病院経営強化プランの策定について

事務局説明

・質疑等

委員： デジタル化への対応で、新病院では自動再来受付機と顔認証付きカードリーダーを統合した機器の設置とあるが、これはどういうものか。

福原事務長： 新病院の待合ホールに自動再来受付機を設置して、再来患者の受付を簡単に効率的に行うこととしており、対応する新しい診察券に取り換えることを考えています。顔認証付きカードリーダーの機能または機器を統合した機器にすることで更に利便性が上がると考えています。自動再来受付機の製造メーカーと既存のカードリーダー製造メーカーが同じだったことから、統合した機器の設置を検討しています。

委員： 電子カルテの機種選定は、他の機関との連携を考えた選定なのか。

福原事務長： 他の医療機関との連携を想定した機種を選定した。主には八雲総合病院で導入している機器と同一メーカーを主要条件としています。

委員： オンライン診療の導入は地域住民を対象としているのか、町外の患者も対象としているのか。

福原事務長： 基本的には地域住民で慢性疾患の患者を対象としたオンライン診療を想定して検討していきたい。

## ③ 国保病院建替事業について

・福原事務長説明

・質疑等

委員： エアコンの設置は設計に組み込まれているか。

福原事務長： 院内は空調設備が整うことから、療養環境は改善されると考えています。

## (4) その他

・内科診療体制の変更について福原事務長説明

## (5) 閉会

・福原事務長

以上